

第0章

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

第8章

第9章

第10章

第11章

第12章

第13章

第14章

DOLPHINROSE

# AC 無料講座

## 第9章

『ACのコツ（その1）』





## 目次

1. ごあいさつ
2. 飼い主に心を開いてもらう
3. 本物と対峙した時のオーラを出す
4. 本気で仲良くなる
5. 興味を持つ

※本教材、および収録されているコンテンツは、著作権、知的財産権によって保護されております。

教材に含まれているコンテンツを、その一部でも、書面による許可(ライセンス)なく複製、

改変するなどして、またあらゆる データ蓄積手段により複製し、

オークションや インターネット上だけでなく、転売、転 載、配布等、いかなる手段においても、

一般に提供することを禁止します。

# 1.

## ごあいさつ

こんにちは(^^♪ゆっです。

第9章では、『**ACのコツ**』について説明していきますね。

---

ACのコツについてはボリュームがありますので、今回と次回と2回に分けてお伝えしていきます。

まず、コツの1つとして「人間の2-3歳児に話しかけるように…」というのがありますが、これに関しては前回の第8章にて詳しくお話していますので、そちらを参考にしてください。

今日はそれ以外のACのコツをお話していきますね(^^♪

## 2. 飼い主に心を開いてもらう

ペットさんと話をする時、エネルギーは当然、自分とペットさんと相互にやりとりしています。

エネルギーの流れとしては

1. 自分 ⇄ ペットさん

2. ペットさん ⇄ 自分

この2つですね(^^♪

ただ、ここにそのペットさんの飼い主さんが関わって来ると、エネルギーの流れが違ってきます。

自分とペットさんとのエネルギーのやりとりは今まで通り存在するのですが、そこに『**ペットさん ⇄ 飼い主さん ⇄ 自分**』という流れが加わるのです。

それによってペットさんから来る情報のエネルギーが、

1. ペットさんから自分 (直接のやりとり)
2. ペットさんから飼い主さんを経由して自分

という2通りの道筋が出来ます。

質問をしたり、会話をしたりする場合は「1」の流れで「直接」やりとりします。

そして、その子の情報を知る・その子をリーディングする時には、直接その子から来るエネルギーの流れもありますが、**飼い主さんを通して流れてくるエネルギーの方が圧倒的に多くなります。**

これについて、私は原理まではまだ究明出来ていません。

飼い主さん経由の流れがなくても、もちろんペットさんとお話は出来ますが、**飼い主さん経由の流れからの情報量の方が直接の時よりも多いので、飼い主さん経由の流れがあった方が断然コミュニケーションしやすいのです。**

そして、この飼い主さん経由のエネルギーのパイプの太さは飼い主さん次第で太くもなり、細くもなります。

このパイプを太くして、ペットさんの情報をより得るためには「飼い主さんに心を開いてもらう」ということが必要になってきます。

ACを受ける際、実は飼い主さんたちはかなり「緊張」されていることが多いです。

何を今から伝えられるんだろう？

うちの子は何て言うんだろう？

などとドキドキしているんですね(^^♪

波動で言えば、「乱れている」状態です。

これではパイプは細いどころか閉じてしまいます。

だから、まずは飼い主さんにリラックスしてもらうことが大切です。

世間話などして飼い主さんのエネルギーが安定して、自分に対してハートが開いたのを確認してからACを始めると良いでしょう。

**相手にハートを開いてもらう一番良い方法は、「自分から先に相手にハートを開く」ことです。**

でも、今からACをする…となると、自分の方が既にガチガチで緊張されてしまう方も多いと思います(>\_<)

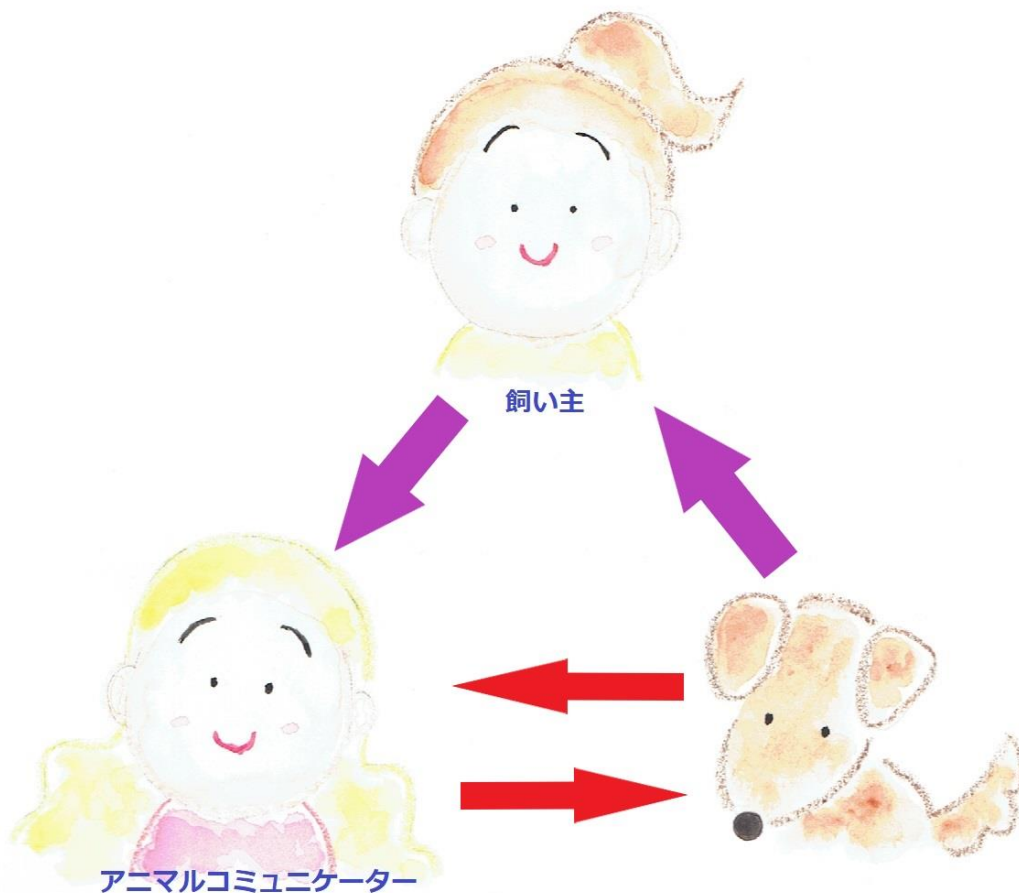
私もそうでした。

そういう時は、上手にやろうなどと考えずにそのままの自分をさらけ出しちゃいましょう。

構えたり、鎧を着たりせず、素の自分を出すことで、リラックスして波動を整えることが出来、そして相手にハートを開けるようになるのです。

ハートを開くというのは

相手に対して「信頼する」「委ねる」「相手へのコントロールを手放す」ことを意識するという意味で捉えていただくと良いと思います。



# 3.

## 本物と対峙した時のオーラを出す

**コツの2つめは「本物と対峙した時のオーラを出す」です。**

ACはテレパシーでコミュニケーションします。

そして、テレパシーは「嘘」が通用しません。

ACは写真を使って行うことも多いのですが、ここで少し想像してみましょう。

あなたが

- ライオンの写真を見た時
- 動物園でライオンに直接手から餌をあげた時

どちらの時のテンションがより高いでしょうか？

中には本物を前にしたら怖くて餌をあげられない人もいるかもしれませんね(^^ゞ

でも、その餌をあげられないという方も、ただ写真を見ただけでは「怖い(>\_<)」と逃げ出した  
りまではしないと思います。

何が言いたいのかと言うと、お写真でACを行う際、この「本物に会った時」のテンシ  
ョンを感じながらコミュニケーションして欲しいということなのです。

本物を目の前にすると自分から放たれるオーラは、ただ写真を見ている時とは明らかに違います。

**ACをする上で本物と対峙した時のエネルギーを放つことはとても大切なのです。**

その子が実際に目の前にいたら自分はどんな波動を出すだろう？

まずは想像してみて、その波動を実際に出してみましょう。

私の場合、かわいいという思いと愛おしいという思いがぶわっと溢れてきます。

みなさんはどんな思いが上がって来ますか？



# 4.

## 本気で仲良くなる

ACが出来るようになりたいという方は、きっと「動物たちともっともっと仲良くなりたい」と思っていることでしょう。

でも実際にACをする時、そんなことは忘れてしまって、必死になってしまっている方が意外と多いものです。

何度も繰り返しお伝えしていますが、テレパシーは嘘が通用しません。

ACでは動物たちと「本気で」仲良くなりたいと思うことがとても大切なんです。

でも「本気で」という言葉を使うと、「ごごごおおお」という「執着」とか「念」にも似たエネルギーを動物に送る方がいますが、これはやめてくださいね(>\_<)

「本気で」と言っても、身体に力を入れるという意味ではありません。

寧ろ体に力が入ってしまっていることに気づいたら意識して力を抜くようにしましょう。

相手と本気で仲良くなりたい時、あなたは、何を思いますか？

- ◆ 相手のことをもっと知りたい
- ◆ 相手にも自分のことを知ってもらいたい
- ◆ 相手に好かれたい
- ◆ 相手と共感したい

などなど、思いますよね。

それは相手が動物でも一緒。

動物だから…と構えるのではなく、自分の中に「相手と仲良くなりたい」という気持ちがあることを確認して、その気持ちを全開にしていきましょう。

## 5. 興味を持つ

「ACのコツ」（その1）の最後は「**興味を持つ**」です。  
これ、実はコツの中でも一番大切なコツになります。

ACをしようと思ったら「**興味**」を持たないことには始まりません。

例えばACでリーディング（相手の情報を読み取る）する場合、自分が「**興味**」を持っている部分の情報しか得ることが出来ません。

「普段、どんな風にお散歩しているんだろう？」

と「**本気で興味**」を持つことで初めてその子のお散歩の様子を読み取ることが出来るのです。

情報の読み取りだけでなく、動物たちと会話をする場合も、自分がその質問の答えに対して本気で興味を持たなければ、相手に質問として伝わりません。

飼い主さんから質問をお預かりした時、自分も本気でその質問に共感し「その答えを私も知りたい」という風に興味を持たないといけないのです。

普段私たちは、生活の中で興味がないものは、別に興味を持たないまま生きていくことが出来ます。

だから、興味がないものに無理に興味を持つ…ということに慣れていません。

ACが出来るようになるためにもこの部分は普段から鍛えておく必要があります。

ここで必要なテクニックは「自分を騙す」ことです。

前に、ACに向いている人の中で、「演技をする時、役にのめり込める」という項目があったのを覚えていますか？

「私はこれに興味がある！」と無理やり自分に思い込ませて、自分を騙すんです。

最初は頭から湯気が出たりします(>\_<)

でも、繰り返しやっているとだんだんとコツが分かって来ると思います。

ぜひ日ごろ興味のないものから何かを感じ取ろうとする練習をしてみてくださいね。

---